

# 戦争法廃止へ3万7千人

## 未来のため安倍政権倒す

戦争法が施行された29日、戦争法の発動を許さないとともに、廃止を求めて、国会正門前で行動が取り組まれ、「戦争反対」「安倍はやめろ」とコールを響かせました。午後7時半まで行われた「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」の行動には、3万7000人が参加。その直後から行われたシールズ（自由と民主主義のための学生緊急行動）と「安全保障関連法に反対する学者の会」の行動では、さらに参加者がふくれあがりました。この日、全国各地で行動が取り組まれました。

◆関連の6面

3面に談話特集



戦争法廃止を訴えてコールするシールズのメンバーたち=29日、国会正門前

### 国会前施行に抗議

シールズと学者の会の行動では、シールズの奥田愛基さんがスピーチし、「安倍法制が施行されたときのことをまだまだ忘れていない。全然あきらめていない」と語り、「安倍首相は憲法を守る気がない。安保法制を廃止する。憲法を守りたい」と訴えました。

総がかり行動実行委員会（20）は、今度の参院選で初めて投票できます。未来の子どもを救うために安倍政権を倒したい。安倍政権を倒したい。安倍政権を倒したい。安倍政権を倒したい。

### 4野党代表連帯スピーチ

#### 山下氏訴え

国会正門前大集会では、4野党の代表が連帯のスピーチを行いました。日本共産党の山下芳生書記局長は「戦後初めて自衛隊が海外で殺し殺される道に踏み込むとしている。断じて許せません」と厳しく批判。参院1人区の野党統一候補の擁立が次々に進んでいることを報告し、「解散に備え、衆院でも野党選挙協力を進めたい。これまでも難しいハードルを越えてきた。これからも乗り越えられると確信している。安倍政権打倒、戦争法廃止で新しい政治を一掃して、さっさと選挙をしよう」と呼びかけました。

民進党の枝野幸男幹事長は「立憲主義、民主主義を守るために最大限のことをする」と発言。社民党の吉田忠智書記長は「戦争法廃止に向けて国民世論に訴えよう。生活の党の玉城デニー幹事長は「思いを一つにして頑張ろう」と訴えました。

3/30 旗

